

## 2019年9月理事会議事録

日 時：2019年9月28日（土）14：00～16：30

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・近藤英夫・矢島國雄・植田 真・小笠原永隆・小澤正人・河村好光・  
菊池誠一・佐古和枝・佐々木和博・杉井 健・関根達人・滝沢 誠・谷畑美帆・  
都築恵美子・中嶋郁夫・萩野谷 悟・堀内秀樹・松崎元樹・高麗 正、監事：唐  
澤至朗・橋本裕行、（事務局：林 純子・出口まどか）

欠 席：大島直行・佐々木憲一・馬淵和雄・宮里 修

進 行：滝沢 誠

議 長：谷川章雄

滝沢理事から、本日の出席者は22名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

### 会員の訃報について

滝沢理事から、東京都の大脇直泰会員が2019年8月25日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

### 議案第544号 退会会員の承認について

植田理事から、北海道の\*会員、岩手県の\*会員、秋田県の\*会員、埼玉県の\*会員、東京都の\*会員、神奈川県\*の\*会員、静岡県\*の\*会員から2019年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、全員承認された。

### 議案第545号 アイヌ民族に関する研究倫理指針の検討について

関根理事から、7月理事会議案第540号で審議されたように、アイヌラウンドテーブル（以下、アイヌRT）では「アイヌ民族に関する研究倫理審査委員会」の設置を検討しており、当会も参加が求められていることから、対応する小委員会の設置について改めて説明があった。続けて谷川会長から、「日本考古学協会規則」で小委員会の設置期間は6年以内と定められているが、研究倫理審査委員会への継続的な参加が想定されるため、小委員会ではなく、研究環境検討委員会などの常置委員会で対応してはどうかとの提案があった。審議の結果、将来的にアイヌRT関係事項について常置委員会で対応とすることが承認され、所管については、研究環境検討委員会の検討を経た上で、改めて協議することとなった。

### 議案第546号 謝金規定及び基準の制定について

都築理事から、これまで申し合わせ事項で対応してきた、総・大会時の公開講演会やセッション、及び協会主催の公開講演会や共催事業等における講師謝金について、現況を整理し、謝金規定（案）及び謝金の区分及び金額一覧（案）が提示された。審議の結果、各謝金額については概ね承認され、海外在住の会員への謝金等の取扱いの明示について等の

修正意見が出された。

#### **議案第547号 日本考古学協会アーカイブス小委員会の設置について**

矢島副会長から、70周年記念事業の1つである日本考古学協会資料のアーカイブ事業について、資料の整理並びにリスト化を行っているが、各委員会関係資料等で未着手の資料がまだ残っている。70周年記念事業全体では、アーカイブ化以外のほとんどの事業を今年度で終了することから、協会設立70周年記念事業小委員会を今年度で解散後、アーカイブス小委員会を設置して事業を引き継ぎ、文書管理規定での各書類の保存期間を定めると共に、アーカイブスの原則を定めたいとの提案があり、審議の結果、協会設立70周年記念事業小委員会解散後のアーカイブス小委員会の設置が承認された。なお、小委員会候補者は、担当理事1名、高麗事務局長、本事業の担当者であった矢島副会長、長瀬前事務局長のほか1名程度の予定とする。

#### **議案第548号 『日本考古学年報』72（2019年度版）執筆者選定委員について**

河村理事から、『日本考古学年報』72（2019年度版）の執筆者選定委員案が提示され、原案通り承認された。

#### **報告第749号 2019年度岡山大会における実施要項及び理事等役割分担の確認について**

中嶋理事から、「大会実施要項」に基づき、日程と各理事の役割分担について確認があり、了承された。

#### **報告第750号 2020年理事選挙管理委員の委嘱決定について**

植田理事から、2020年の理事選挙の選挙管理委員16名の報告があり、了承された。

#### **報告第751号 各委員会等における事業・会議報告と今後の計画（その2）**

##### **1 埋蔵文化財保護対策委員会報告**

松崎理事から、7月20日（土）に7月幹事会を開催し、①岩手県立博物館の学芸員が金属製文化財の一部を無断で切り取っていた問題について、菊地委員からこれまでの経緯や検証調査等の現状報告があり、問題の所在についても協議した。②大阪府堺市陶邑古窯址群で開発計画があり、情報を収集すると共に経過を注視する。③北本市デーノタメ遺跡について10月にシンポジウムが開催予定であり、保存に向けて今後の動向を注視する必要がある。④港区済海寺大名墓所の改葬に伴う記録調査の出土品について、改葬先の愛媛県の対応を把握すると共に、東京都における江戸遺跡の位置づけ等の確認を行う予定である。⑤7月6日（土）・7日（日）にこれまでの埋文委の活動記録のアーカイブ化について取りまとめ作業を行ったとの報告があり、了承された。

##### **2 千葉県における被害状況とその対応について**

小笠原理事から、台風15号による千葉県の文化財や史跡等の被害について、現状で把握されている被災状況について報告された。続けて近藤副会長から、このことに関連して、千葉県教育庁からの要請により、9月26日（木）に「文化財・博物館等関係団体打ち合わ

せ会」に小笠原理事と共に出席し、台風被害を受けた文化財等の対策について協力が求められたとの報告があり、了承された。

### 3 平成28年熊本地震復興に係わる文化財・埋蔵文化財調査の成果報告会開催について

杉井理事から、平成28年熊本地震対策特別委員会が企画している、12月21日（土）に熊本県益城町のミナテラスで開催の「平成28年熊本地震復興に係わる文化財・埋蔵文化財調査の成果報告会」について、プログラムの提示があり、了承された。

### 4 社会科・歴史教科書等検討委員会報告

佐々木和博理事から、9月14日（土）に委員会を開催し、①9月12日（木）に谷川会長及び近藤・矢島両副会長と、釘持委員長・小菅副委員長・松本委員の委員会代表者が面談した内容を受けて、教科書の改訂について文部科学省に直接接触を図る方法を協議した。②小学校の2022年度新教科書検定に向け、指導書に旧石器時代を組み込む取り組みを進める。③2019年度岡山大会でのポスターセッション内容について検討した。④協会ホームページ「考古学と教育」の充実に向けて協議し、これまでに作成した「歴史教科書を考える」をまず掲載することとしたとの報告があり、了承された。

### 5 陵墓報告：立会調査に係る見学報告等について

滝沢理事から、①立会調査見学が9月5日（木）に男狭穂塚古墳（男狭穂塚陵墓参考地）で実施され（掘削工事は行われなかった）、4学協会6名が参加し、当会からは近傍の会員2名が参加した。②「百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録決定に関する見解」の記者発表後、関西を中心に新聞報道等があったとの報告があり、了承された。

### 6 英文機関誌編集委員会報告

英文機関誌編集委員会のオブザーバーである小澤理事から、9月21日（土）に編集委員会を開催し、①『Japanese Journal of Archaeology』（以下、JJA）Vol. 7, No. 1の掲載予定内容及び刊行日程を確認した。②次号『JJA』Vol. 7, No. 2の原稿投稿状況と編集体制について協議した。③本年度で任期が終了する委員がいることから、2020年度以降の委員会体制について検討していくとの報告があり、了承された。

### 報告第752号 史蹟名勝天然記念物保存法100年記念シンポジウム「国土をめぐる記憶の継承」事業について

矢島副会長から、後援している史蹟名勝天然記念物保存法100年記念シンポジウム「国土をめぐる記憶の継承」について、11月16日（土）に東京国立博物館で開催される予定で、参加申込みが必要な旨の説明があり、参加が求められた。

### 報告第753号 第85回総会時における高校生ポスターセッションに関わる専門誌掲載予定について

河村理事から、(株)雄山閣からの申し出で、第85回総会時に実施した高校生ポスターセッションについて、概要や発表団体一覧、表彰団体の発表内容要約等が『季刊考古学』10月

号に掲載されることとなった。また、来年以降も続けて掲載したいと雄山閣から求められているとの説明があり、了承された。

#### **報告第754号 高松塚古墳壁画修理作業室の専門家特別公開の参加報告**

佐古理事から、8月7日（水）に中嶋理事と共に、高松塚古墳壁画修理作業室の専門家特別公開に参加し、全体で11学協会の参加があった。今年度で修復作業10年目となり、壁画のカビの多くが除去されてきれいになっていたこと、また石材の劣化が激しいことから、今後の保存・活用が課題であるとの報告があり、了承された。

#### **報告第755号 遺物の分析試料の不正採取に関わる声明公表以後について**

谷川会長から、「遺物の分析試料の不正採取に関わる声明」を公表後、岩手県を中心とした新聞各社から問合せがあり対応し、それぞれ事前にメール送付したような記事が掲載されたとの報告があり、続けて関根理事から、7月理事会後現在までの経過報告があり、了承された。

#### **報告第756号 年会費徴収のためのチラシ配布の効果について**

高麗常務理事から、8月会報に会費の納入を促すチラシを同封したものの、期待以上の効果は得られなかったため、会費滞納会員へのより効果的な案内方法の検討を要するとの報告があり、了承された。

#### **報告第757号 事業等に関わる後援名義使用（2件）の了承について**

高麗常務理事から、①日本遺跡学会から2019年度日本遺跡学会大会・史蹟名勝天然記念物保存法100周年記念シンポジウム「国土をめぐる記憶の継承」について、②観光考古学会からシンポジウム「葛飾柴又の文化遺産と観光－文化遺産・観光振興・シビックプライドの関係性－」について、それぞれ後援（名義）依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承された。

#### **その他**

##### **（1）『日本考古学年報』執筆等に関わる情報入手について**

中嶋理事から、年報等の執筆にあたり各行政機関へ情報提供を求める文書の発出について問合せを受けたとの説明があった。近年、情報入手が難しくなっているとの意見も出され、今後の課題であることが確認された。

以 上